



# 「のびる若木」

西海市立西海東小学校  
令和5年度 学校便り 第2号  
令和5年4月7日  
文責 校長

## ご入学おめでとうございます ～ぴっかぴかの1年生！～

本日、25名の1年生が入学し、令和5年度の西海市立西海東小学校136名の子どもたちが揃いました。小学校という新しいステージに一步踏み出した1年生の心の中には、希望と不安が交差しているかもしれません。でも、西海東小学校には、経験に裏打ちされた指導力、熱意、愛情にあふれる職員が揃っています。どうぞ、安心して、子どもたちを預けてください。

そして、何か不安なことや気になることがあれば、その不安が小さな内に学校に御相談ください。保護者の皆様と、西海東小学校の職員が同じ方向を向いて子どもたちに愛情を注ぐ時、子どもたちは健やかに成長していきます。今はまだ、つぼみのような一年生が、卒業式では大輪の花を咲かせるよう、学校・家庭・地域で連携して愛情を注いでいきたいと思えます。どうぞよろしくお祈りします。



→裏面もご覧ください

## 西海東小学校

今年度のテーマは、「やさしさ」  
「やさしさあふれる学校」を目指します



始業式で、子どもたちにお話ししたことを紹介します。

先生は、みんなと、先生たちと、みんなのおうちの人と地域の方と力を合わせて、この西海東小学校を、「やさしさ あふれる 学校」していきたいと思っています。先生は、西海東小学校の先生になって、5年目になります。これまでの4年間で感じたのは、西海東小学校の子供たちは、とてもやさしいということです。やさしい心をもっていることは、みなさんのとてもよいところ です。そのよさを、さらにはっきりしてほしいと思っています。

学習の中でのやさしさは、お話の聞き方にあらわれます。これは为什么呢？（コップ）  
コップに水を入れます。これで、水が入りますか？入りませんね。  
コップを上向きにしないと、水は入りません。実は、みなさんの心の中にもコップがあるのです。先生や友達の話を聞くと、心のコップが下向きになっていたら、お話をしっかり聞くことはできません。話している人の伝えたいことは何かな？話している人はどんな気持ちかな？と、みんなの心の中にあるコップを上向きにして聞くと、しっかり聞くことができます。  
お話を聞くと、心のコップを上向きにすること。それがやさしさにつながります。

生活の中でも、やさしさは、あらわれます。なににあらわれるかということ  
そうです。トイレのスリッパ。（スリッパ）  
先生は、みんなに、自分が使ったスリッパを並べることができる人になってほしいのです。  
なぜ、並べられるかというと、次に使う人が気持ちよく使うことができるためです。  
自分のことばかりではなく、次に使う誰かのために、そっとやさしく、スリッパをそろえる。  
そろえているところは、だれも見えていないから、だれもほめてくれないかもしれません。  
でも、自分がそろえたことは、自分が一番知っています。だれも見えていないところで、やさしいことをすると、自分の心がみがかれます。やさしさの心が育ちます。  
みんなが少しずつやさしくなると、西海東小のスリッパは、いつもきれいに並ぶはずです。  
自分のことだけでなく、みんなのことを考えて行動することも、やさしさにつながります。

学校での暮らしの中にある「やさしさ」をたくさん見つけてみてください。  
みなさんの心の中にあるやさしさの花を、たくさん咲かせてください。  
みなさんにとって、この1年間で、すばらしい時間になることを心から願っています。  
一緒にがんばりましょう。